

事務事業評価シート

事務事業名	障害者アグリ雇用推進事業		
担当部局名	担当室名	室長名	
産業部	農林資源室	岩本 靖之	

(R1)No.	1102	(H30)No.	1102
会計区分		事業コード	307001
一般会計		(中事業名)※予算書事業名	
水産産業費		障害者アグリ雇用推進事業	
養蚕費		(小事業名)	
養蚕振興費		障害者アグリ雇用推進事業	

1. 事務事業の位置付け

総合計画	政策	3	活力に満ちて暮らせるまち
	基本施策	2	いきいきと働けるまちづくり
	施策	1	雇用創出
重点プロジェクト			

2. 事務事業の概要

事業目的(めざす効果)		
農業関係者及び障害者を含む福祉関係者相互の理解を深め、障害者の農業就労を推進することにより、障害者の自立を促進し、また障害者の心身の健康や機能回復を図り生活の向上を目指します。		
事業内容		
農業分野における障害者就労を推進するため、名張市障害者アグリ雇用推進協議会において農業ジョブトレーナーの養成や農業就労体験、研修会等の必要な取組を行います。		
R2年度(事業計画)	R3年度(事業計画)	R4年度(事業計画)
○障害者アグリ雇用推進協議会に委託して、農業就労体験やモデル雇用、啓発イベント等を実施します。	○障害者アグリ雇用推進協議会に委託して、農業就労体験やモデル雇用、啓発イベント等を実施します。	○障害者アグリ雇用推進協議会に委託して、農業就労体験やモデル雇用、啓発イベント等を実施します。

3. 総合計画の目標達成に向けた主な事業の実績・計画

	H30年度(事業量・取組実績)	R1年度(事業量・取組計画)
主な事業の実績・計画	○障害者アグリ雇用推進協議会に委託して、農業就労体験やモデル雇用、啓発イベント等を実施します。	○障害者アグリ雇用推進協議会に委託して、農業就労体験やモデル雇用、啓発イベント等を実施します。

	H30年度(決算見込)		R1年度(作成時予算額)		R2年度(計画予算)	R3年度(計画予算)	R4年度(計画予算)
	H29繰越分	H30現年分	H30繰越分	R1現年分			
①直接事業費		1,244千円		1,028千円	1,028千円	1,028千円	1,028千円
内訳(千円)							
国・県支出金							
地方債							
その他()							
一般財源	0	1,244	0	1,028	1,028	1,028	1,028
人工数							
職員		0.24人		0.24人	0.24人	0.24人	0.24人
臨時職員等		0.00人		0.00人	0.00人	0.00人	0.00人
②概算人件費	0千円	1,800千円	0千円	1,800千円	1,800千円	1,800千円	1,800千円
①+②総事業費	0千円	3,044千円	0千円	2,828千円	2,828千円	2,828千円	2,828千円

4. 担当室による事務事業の点検

考察(H30年度の取組評価、課題、施策への貢献、市民との協働など)
農業就労体験を計94回開催し、延べ347名の障害者が参加しました。また、特別支援学校との連携により収穫体験や加工、販売体験を実施し、啓発推進を図りました。 障害者の農業就労や体験実習の実施による就労意欲の向上、就労先の選択肢の拡大等に貢献しています。また、市内事業所等との更なる連携により、就労や作業の受け皿を拡大していける可能性があります。

5. 今後の方向性(担当室による内部評価)

【選択肢】 継続(改善)、継続(現行)、継続(拡大)、継続(縮小)、統合(予定含む)、休止(予定含む)、廃止(予定含む)、事業完了(予定含む)	継続(拡大)
今後の対応方針(課題解決への取組内容、具体的な見直し内容、継続の理由等)	6. 事務事業の取組に関する市の計画
これまでの取組の結果、障害者の農業就労に向けた体制の構築は完了しており、今後は、様々な就労形態も考慮し、労働力を求める農業事業者と農業分野での就労を希望する障害者とのマッチングを図り、様々な形での就労につなげていきます。実際に雇用に結びつく事例は依然として少なく、今後は就労形態の多様化による様々な形での就労を検討し、引き続き、就労実績の増加を目指していきます。	第3次名張市障害者福祉計画 第3次名張市農業マスタープラン